

小牧南遺跡 第2次 (No, 2)

位置情報URL : <http://www.gis.pref.mie.lg.jp/mmm/index.html?z=256&ll=35.0418961451304.136.566166839981>

○掘削前の準備が進んでいます。

発掘調査では重機や人力による掘削の前に行う準備がたくさんあります。
今回はそういった準備について紹介します。



除草中です。

掘削前の調査区の様子です。
作業員さんが除草作業をされており、着々と掘削に向けての準備を進めています。

ツルがからまったりして大変じゃな。



ほるぞうさん



もぐ博士

ほるぞうさん、こういう準備が発掘調査をよりよいものにするのですぞ。



段階確認の様子

左の写真は「段階確認」といい、調査を行う前の調査区の面積等の確認をしているところです。段階確認は調査の節目節目に行われます。

最初の段階確認にあたって調査区の面積や標高を測量することも大切な準備のひとつなんじゃ。



西区を西から撮影

調査前の様子を記録するのも準備のひとつです。現在の様子を記録し、調査にもいかしていきます。

この写真は調査区の西端からの様子を撮影したものです。

現在の様子と掘削後に明らかになる昔の姿を比べてみるのも地域の変遷を考える上で大切なことじゃ。





南からみた小牧南遺跡

南側の段丘上から撮影してみました。

小牧南遺跡は段丘地帯にあり、この写真からはこの遺跡が段丘の斜面でも緩やかな場所にあることがわかります。こうして少し離れたところからも地形などを確認することは遺跡自体の成り立ちや変遷、周辺遺跡との関係を考える上で大切なことです。



北東からみた小牧南遺跡

これは昨年度に小牧南遺跡の北東に位置する北山城跡上空から撮影したものです。

朝明川の河岸段丘上には多くの遺跡があり、長い年月の中では人々が移動したり、遠方からの文物の交流もあったことでしょう。こうした遺跡で生活していた人々のつながりや地域全体の変遷を意識しながら調査することでそれぞれの遺跡の調査研究がよりよいものになるのです。

【問い合わせ先】

三重県埋蔵文化財センター 調査研究3課 四日市整理所

〒512-8064 三重県四日市市伊坂町126-1

電話番号: 059-363-3195/ファックス: 059-363-3196

E-mail: maibun@pref.mie.jp